

## 地域を守る消防団、その幹部として—— 白鷹町消防団最高幹部の辞令交付式が行われました

4月4日、白鷹町消防団の最高幹部辞令交付式が中央公民館で行われました。

今年度より新たに副団長に就任した佐藤貴光さん（十王）をはじめ、各分団の分団長、副分団長に平盛和団長より辞令が交付されました。

白鷹町消防団は、町民の皆さんの生命および財産を守るために日々防災活動に尽力しています。有事の際は、平盛和団長のもと、最高幹部の皆さんは各分団をまとめ上げ、的確な指示で迅速な対応にあたります。このたび辞令を受けた皆さんは、さらに強い責任感を持った様子で式に臨みました。



辞令を受け取る佐藤貴光副団長

## 長年の功績と消防団員の育成指導への貢献をたたえて 白鷹町消防団副団長 佐藤貴光さんが消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章

白鷹町消防団副団長を務める佐藤貴光さん（十王）が消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章され、4月4日に、佐藤町長より賞状が授与されました。

佐藤副団長は、平成4年に白鷹町消防団に入団。令和元年度までは第3分団の分団長を務め、今年度より副団長に就任されました。これまで、豊富な知識と経験を生かし、団員の安全を図りながら沈着冷静な判断で現場指揮にあたってきました。同時に、数多くの消防団員の育成指導にもご尽力いただき、その功績が高く評価されこのたびの受章となりました。



賞状を手にする佐藤貴光副団長

## 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて 白鷹町商工会が町に町内企業支援に関する要望書を提出

4月15日、白鷹町商工会（黒澤利朗会長）から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による町内企業の経営悪化を受け、支援策の実施についての要望書が町に提出されました。

外出自粛による飲食店での売上の大幅な落ち込み、製造業における関連企業の工場稼働停止による町内企業における生産活動への影響などが生じており、また、感染症の収束が見通せない中、町内企業の経営がますます深刻化し、事業継続が困難となることが懸念されています。このような状況を受け、白鷹町商工会から、テイクアウトなどによる販売拡大に対する支援や、融資に対する利子補給制度の拡大などの要望がありました。



佐藤町長に要望書を手渡す黒澤利朗会長（中央）と丸川雅春商業サービス部会長（左）

## 期待に胸を膨らませて新たな学校生活がスタート！ 町内の各小学校と白鷹中学校で入学式

4月7日、町内の各小学校と白鷹中学校で入学式が行われました。本年度、町内の小学校には合わせて86名の児童が、白鷹中学校には114名の生徒が入学しました。

東根小学校では、15名の生徒が元気いっばいに入場行進を行い、式の中では、氏名点呼で名前が呼ばれると、元気よく「はい！」と返事ができました。

白鷹中学校では、真新しい制服に身を包んだ114名の生徒たちが少し緊張した面持ちながらも、堂々とした様子で式典に臨みました。新入生代表のあいさつを述べた高橋美咲さんは、「新しい環境での生活は、慣れないことが多く不安もありますが、新入生みんなで一丸となって、頑張りましょう」と、勉強や部活などに全力で取り組むことを誓いました。

今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、規模を縮小した形での開催となりました。



◀ 保護者の方が見守る中、元気いっばいに入場する新入生



◀ 元気よく返事ができ、先生方へはとても感謝していました



◀ たくさん仲間と始まる学校生活に期待と夢が膨らみます



◀ 中学校の新入生代表あいさつを立派につとめた高橋美咲さん

## これからの白鷹町を担う子どもたちへ JA山形おきたま農政対策白鷹地区本部によるアルミ製弁当箱の贈呈式

4月2日、JA山形おきたま農政対策白鷹地区本部（大滝権一本部長）によるアルミ製弁当箱の贈呈式が町長室で行われました。

「これからの白鷹町を担う子どもたちに、おいしいご飯をたくさん食べてほしい」と毎年行われているもので、今回は町内の小学校に入学した新入生86名分の弁当箱を寄贈いただきました。

寄贈いただいた弁当箱は、入学式の日に入学生の皆さんに手渡されました。毎年寄贈いただきありがとうございます。



大滝権一本部長より佐藤町長へ手渡されました。